



## 難しい。だから嬉しい

昼間は熊本YMCA学院の建築科2年生として専門知識を学び、夕方からはYMCAみなみセンターで水泳教室のリーダー活動。「僕ほどYMCAに関わっている学生は、なかなかいないかも」と話す高木琉平さんとYMCAとの出会いは今から15年前、4歳の時でした。「みなみセンターで中学3年生まで水泳を続けました。子どもが好きなので、最後の方はリーダーを手伝うようになっていましたね」。高校生になって一度はYMCAを離れるものの、卒業後の進路に選んだのはYMCAの専門学校。「高校でも工業系の学科で建築のことを学んでいました。もう少し勉強してみたいなと思って。YMCAなら勉強以外にもリーダー活動やボランティアなど様々な経験ができるので選びました」。

建築科の授業について「専門的な内容が多くて大変」という高木さんですが、だからこそ喜びも多いようです。「仕事が好きで、いつも図面を書いていました。でも以前はただのスケッチだったんです。それを、ちゃんとした設計図として書けるのが嬉しい。やっぱり自分はこういうことが好きなんだと実感しています」。2月には1学年上の先輩たちの卒業発表会が開催されました。「知識がないと作品は作れません。皆さんすごいなと思いました。僕ももうすぐ卒業制作に向けてのゼミがスタートします。楽しみです」。

## 気持ちが通じ合える瞬間

水泳のリーダーを始めたのはYMCA学院入学後の5月。子どもの頃には分からなかったリーダーの苦労があったといいます。「クラスごとにプールの高さを変える台を置いたり、備品の片付け方にもルールがあったり、環境を整えることの重要性を感じました」。最初は子どもたちの顔と名前が一致なくて間違えることや、同時に話しかけられて上手に対応できなかったことも。「リーダーから見ると、子どもたちは複数の中の一人だけれど、子どもたちにとって

リーダーは僕一人。初めは大変でしたが、クラスの一人ひとりと向き合うことを大切にしています」。

リーダー活動の楽しさを聞くと「教えたことをすぐ吸収してくれたり、難しくても頑張って少しずつ上達している姿を見ること」と高木さん。水泳以外に、キャンプやアフタースクールのリーダーとしても活躍する高木さんですが、時には子どもがなかなか話を聞いてくれない時もあると言います。「でも、それには子どもたちなりの理由があるんです。その理由を見つけて、一緒に楽しいことを探してみる。そうやって、気持ちが通じ合えると嬉しいですね。相手のことを理解できたのかなと思える瞬間です」。

## 見方を変えたらプラスになる

水泳教室の記録表では、子どもたちの様子を丁寧に保護者に伝えることを意識しているそう。『「今回はここまでできたから次はここを頑張りましょう」だけではなく、どういう風に頑張っているのか、その子のよいところを書いてあげたい」。その姿勢はリーダー活動以外でも「人のいいところを見る」ということにつながっているようです。「同級生に『他の人に比べて自分は劣っている』と自己評価が低い友だちがいるんです。でもそれは『自分よりできる人のことを見て頑張っている』ということですよ。自分の弱点を分かっていること自体、僕から見たらすごいこと。だから友だちには、それは長所でもあるんだよと伝えています。マイナスに感じられることも、見方を変えたらプラスに考えることができる。これはYMCAで得られた価値観だと思います」。

「YMCAでの様々な経験や人との関わりを通して、自分がどういう人間か、少しずつ理解できている気がします」。専門学校とリーダー活動、二つのフィールドで成長を続ける高木さん。残りの学生生活でも自分のことを見つめながら、多くのことを吸収して社会へと羽ばたいていくことでしょう。

## Pickup

祝 YMCA阿蘇キャンプ  
70周年記念行事  
特集

※3面に関連記事



YMCA赤水保育園園児のオープニングセレモニー



阿蘇市市長の佐藤義興さんによる祝辞



バースデーキャンプでピザを手作り



# I n f o r m a t i o n

行こう 見よう 深めよう

## 大学生・専門学校生が活躍 YMCAユースリーダー募集



ボランティア  
×  
学び

YMCAには子どもと関わるボランティア活動の機会がたくさんあります。新しい経験や出会いを通して自分自身の成長を目指してみませんか？

☑ 野外活動・キャンプ、こどもスポーツプログラム、ぶらっとほーむ（不登校児童・生徒たちの居場所づくり）

☑ まずは、申込フォームから登録してください。担当者から詳細をお伝えします。

キャンプ・スポーツ  
リーダー登録は  
こちら▼



ぶらっとほーむ  
リーダー登録は  
こちら▼



## 熊本YMCA学院 オープンキャンパス



専門学校  
×  
体験

専門教育、人間教育、キャリア教育を教育方針として学生たちを育成する専門学校熊本YMCA学院の各学科の魅力にふれることができるオープンキャンパスにぜひご参加ください。

☑ 5月13日（土）、27日（土）、6月17日（土）、24日（土）他

☑ 学科 建築科、ホテル観光科、医療秘書科、健康スポーツ科、こども保育科

※こども保育科は指定保育士養成施設の認定を受け、2023年度入学生から2年課程になりました。

☑ Webサイトからお申込み  
ください ☑ 熊本YMCA学  
院 Tel 096-353-6393



## 2023年度熊本YMCA定時会員大会

2023年度熊本YMCA定時会員大会を開催します。参加のご案内は維持会員の皆様に別途お知らせいたします。

☑ 5月26日（金）18:30～ ☑ 本会場 熊本YMCA本館、サテライト会場 YMCA阿蘇キャンプ ☑ 第1部 礼拝、第2部 基調講演会、第3部 表彰式、第4部 報告会 ☑ YMCA本部事務局 Tel 096-353-6397

## 熊本YMCA創立75周年記念事業

熊本YMCAは今年10月10日に創立75周年を迎えます。これを記念した特別プログラムを企画しております。詳細は随時お知らせいたします。

☑ 記念講演会、熊本YMCA学院同窓会、キャンプ、ウエルネスツアー、ミステリートレインなど（予定） ☑ YMCA本部事務局 Tel 096-353-6397

## NPO法人でんでん虫の会 おしゃべり会

でんでん虫の会ではひとり暮らしの方同士が、お互いを支えあうことを目指し、交流活動を進めています。相談と生活の支援を行うでんでん虫の会が主催するおしゃべり会がYMCAの各拠点で開催されています。

☑ YMCA本館 第3土曜日／みなみセンター 第3水曜日／ながみねファミリーセンター 第2、4月曜日 他 ※変更の場合あり。でんでん虫の会へ直接お問い合わせください。

NPO法人でんでん虫の会Webサイト▼



☑ 日時 ☑ 会場 ☑ 内容 ☑ 参加費 ☑ 定員 ☑ 参加条件 ☑ 持ち物 ☑ 対象 ☑ 主催 ☑ 締切 ☑ 申込 ☑ 問合せ ☑ その他

## COM・PASSION II

おもいやりとやさしさ Vol.17

総主事 光永 尚生



### YMCAの全人的成長プログラム

熊本YMCAでは約6,000名の方が、毎月様々なプログラムに参加されています。加えて、夏、冬、春の講習会にも多くの参加があります。熊本YMCAには4つの法人がありますので、参加するスタイルは多様で、どの入り口からYMCAの門をたたかによって、YMCAとの関わり方が違ってきます。この違いは、ひとり一人を大切にしているYMCAの特長となっています。

一方で、入り口が多いので、「YMCAとは？」という問いに対して、説明がしにくいというご指摘を受ける時があります。YMCAのことを簡潔に説明するのは難しいのですが、縦軸と横軸を用いて考えると分かりやすいようです。縦軸にはプログラムの活動目的として、日常生活に関係する領域、学びと習得、身体形成、総合的な実践、課題の解決と献身に分類しています。横軸には、幼児、小学生、中高生、学生、そして社会人というライフステージを書き入れてみます。例えば、日常生活では、チャイルドケア、アフタースクール、発達支援プログラム、自立就業、高齢者支援が入ります。全国35のYMCAを俯瞰してみると、驚くほど多岐にわたるプログラムが展開されています。学びと学習では、インターナショナルスクール、フリースクール、専

門学校、日本語学習、成人英語などがあります。身体形成と総合的な実践では、ウエルネス、キャンプ等があり、そして課題の解決と献身では、地域コミュニティでの活動、リーダー活動、ボランティア活動、地域奉仕活動などあります。YMCAは世界を見つめ、地域に根差す会員運動を大切にしており、維持会員、プログラム会員として所属していただいています。ワイズメンズクラブの皆様はYMCAを支えるもう一つの生き方を実践されています。

このようにYMCAはどの世代の方でもどの入り口から参加された方でも集える場所であり、いつもFOR ALL（全ての人のために）を考えて活動が進められてきました。これからも、その精神を大切にしながら世界平和をつくり出す人々の居場所となるように歩んでいきます。



## R | E | P | O | R | T

[ 3月21日⇒ 4月6日 ]

祝

## 開設100周年へむけて YMCA阿蘇キャンプ70周年記念

3月21日(火・祝)、YMCA阿蘇キャンプの開設70周年を記念して式典とバースデーキャンプを開催しました。



## YMCA阿蘇キャンプ70周年記念式典

大地を潤す恵みの雨の中で開催した記念式典に86名の参加がありました。YMCA赤水保育園園児によるオープニングセレモニー「赤水太鼓」は、参加者の胸を打つ素晴らしい演奏でした。第1部開会礼拝に続いて行われた記念式典では、阿蘇市市長の佐藤義興氏をはじめとする3名に感謝状が授与されました。続いて100周年に向けたグランドデザインや、70周年を記念して取り組んでいる施設改修、記念募金活動、記念誌作成について報告。第3部の懇親会は和やかな雰囲気の中、スタートし、懐かしい写真が展示されているコーナーでは、昔話に花が咲いていました。

これからの未来に向けて、だれ一人取り残さない社会の実現のために、「みつかる。つながる。よくなっていく。」場所として、これからも歩み続けていきたいと思えます。

YMCA阿蘇キャンプ70周年特別委員会 本田奈緒子

## YMCA阿蘇キャンプ バースデーキャンプ

記念式典に合わせて開催したバースデーキャンプに、19名の子どもたちとリーダー6名が参加。雨が降る中、子どもたちはキャンプを全力で楽しみました。午前中はピザづくりに挑戦。自分たちの昼食分だけでなく、式典に参加している人たちのためにも焼き上げました。昼食を終えると、キャンプ場に寄贈するためにキャンプソング「がんがん」の歌詞を大きな布にみんなで書きました。

このキャンプは、参加するユースボランティアリーダーたちでミーティングを積み重ねプログラムを決めました。子どもたちに阿蘇キャンプと共に「がんがん」生きてほしいという願いを込めました。歌詞を書き終えて歌った「がんがん」の力強い歌声からは、その一節に「大丈夫、頑張れる、がんがん生きてやる!」とあるように、どのような環境にも負けず、生きようという子どもたちの自信を感じました。阿蘇の大自然と、出会えた仲間たちへの感謝の気持ちがあふれたキャンプとなりました。

ユースボランティアリーダー 下田大雅



## 企画旅行

## 富士山の自然を訪ねる 4日間の旅

日本一の標高と容姿を誇る富士山。その自然の奥深さは山頂だけではなく、裾野には多様な生き物が住む美しい自然があり、地下には300を超える溶岩洞窟が存在すると言われています。昨年に引き続き、YMCAトラベルの企画旅行として3月31日(金)から4月3日(月)の日程で「富士山の自然と神秘の溶岩洞窟を訪ねる4日間の旅」を開催し、21名が参加しました。

初日から快晴が続き、素晴らしい富士山の容姿を望むYMCA東山荘でのオリエンテーション後、秩父宮の桜まつりへ。2日目は雪解け水や降雨によっ

て流れた水により削り取られた溶岩流の上を標高1200m～1500mまで遡上し、途中29もの枯滝を登り、または迂回して富士山の大自然を堪能しました。3日目は一般の観光洞窟ではない、知られざる秘密の洞窟へ。3時間にも及ぶ洞窟内部探索では、様々な形の溶岩鍾乳、氷柱、コウモリや天窓からの美しい光、真の闇。参加者たちはその静けさと自然の神秘的な美しさを体で感じている様子でした。

ユース・コーポレーション(YMCAトラベル) 堤雄一郎



## 社会貢献

## YMCAフィランソロピー協会が主催 ボランティア入門講座

企業と企業人の社会貢献を推進するYMCAフィランソロピー協会が、4月4日(火)、4月6日(木)の両日、第28回となる新入社員ボランティア入門講座を開催しました。本講座は、企業人のボランティア精神を育む最初の機会として、障がい者の自立を支援するNPO法人「ヒューマンネットワーク熊本」から障がいのある講師を迎えて行う企業合同研修会。2日間で6企業・団体の38名が参加しました。

今回は車いすの乗車体験と高齢者疑似体験を実施。車いすで街の中を走行した参加者たちは、わずかな傾斜や段差による不便さ、横断歩道を渡る大

変さを感じていました。高齢者疑似体験では膝や肘、腰が伸ばしにくくなる専用のスーツを着用。階段の昇り降りなどの動作が難しくなるのはもちろん、付属のゴーグルにより視野も狭くなるため、「いちごオレはどこ?」「トマトジュースが見当たらない」など自動販売機で飲み物を選ぶのも一苦労の様子でした。自分と異なる立場を体験した参加者たち。「身体が不自由であることで、身体的だけでなく、精神的な負担もあると感じた」、「だれでも暮らしやすい社会にしていきたい」などの感想が寄せられました。

総主事室 大塚永幸







## 新年度に向けてチャレンジ スプリングキャンプ

今年の春休みは、科学実験キャンプ、アウトドアクッキングキャンプ、3日間いごデイキャンプ、北海道ダイナミックスキーキャンプの4つのキャンプを実施。子どもたちが大自然の中で、たくさんのチャレンジをしました。



火おこしに  
チャレンジ!



博士ちゃん!?  
科学実験で浮いた!



わたしたちは  
えいごでキャンプ!



ナタを使って薪作り



野外調理  
パーティーに  
挑戦だ



北海道ニセコで  
スキーをがんばるぞ!



上手でしょ

## SDGsパートナーシップ 団体として



熊本YMCA職員を対象としたSDGsワークショップが2022年12月、2023年1月、2月の3回にわたって開催されました。肥後銀行法人コンサルティング部の協力によるもので、様々な団体、企業のSDGsへの取り組みや、YMCAのプログラムや活動が地域や社会に対してどのような貢献をしているのかについて改めて考え、学びました。今後も17の項目を実践した活動を行います。

熊本YMCAはさらに多くの団体や企業とのパートナーシップでSDGsを推進し、「ポジティブネット」のある豊かな社会の創造を目指します。



4月14日(金)、熊本YMCAがSDGsパートナーシップ企業・組織の証を受領

## わたしと聖句

ルカによる福音書 24章32節

二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。

神に出会う＝神のことばに出会う

聖書から言われます神のご臨在、キリストと人格的に出会うということとは、一体何を意味するのでしょうか。

夢や幻の中で天使が現れ、神のお告げを伝えてもらうという意味でしょうか。それとも、お祈りすれば何でも応えてもらえることが神とお会いすることなのでしょうか。全く否定するわけではありませんが、これらは一般的な方法ではあ

りません。

わたしが今まで多くの女性との関りや出会いの中で、今の妻と結婚したいと決断した理由の一つは、この人と話が通じるということでした。話が通じるとは、相手の価値観はじめ、思い、考えなど相手の人格とぶつかるとい意味です。

「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった(ヨハネ1:1)」とあるように、誤りなき聖書66巻のことばによって、神の価値観、思い、ご計画など神ご自身とお会いすることが出来ます。そして、なかなか理解できない御言葉でもその通りに実践し、その実りを経験することで、生きておられる神ご自身と出会えるのです。

この美しい季節に聖書を読み、キリストとお会いすることが出来ますように。

熊本南・羊の群れキリスト教会  
朴哲浩

発行所／(公財)熊本YMCA  
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1  
TEL 096-353-6397(代)  
発行人／光永 尚生 編集人／大塚 永幸  
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



Facebook

### 熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動  
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

### 2023年度基本聖句

マタイによる福音書 7章7節

求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。